

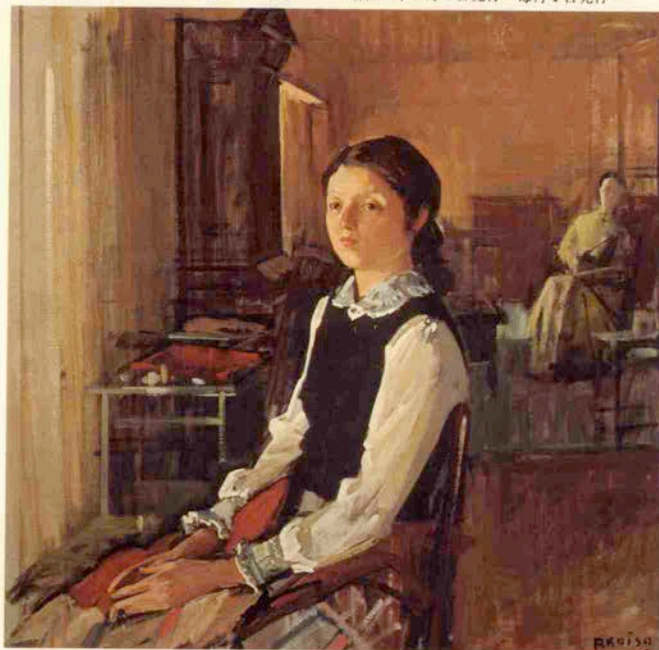
# THE 2 特集/酒

## KOBECCO

FEBRUARY 1976 NO. 178

### 神戸っ子

神戸っ子昭和40年2月20日第三種郵便物認可  
昭和51年2月1日印刷 通巻178号  
昭和51年2月1日発行 毎月1日発行





■ '76あなたとベニヤを結ぶ  
ファッションの絆を大切に

LADIES SHOP  
*Beniya*  
*the 4th fashion of the four season creative beniya*

神戸	
三宮センター街	332-2135
ベニヤエルベ	332-2829
さんちカレディスタウン	321-2678
大阪	
梅田阪急三番街	372-8093
上本町近鉄百貨店2F	779-1231
ミナミ地下センター	213-6128
東京	
日本橋東急百貨店1F	211-0511
渋谷別館バルコ3F	476-2348
PHOTO/藤原保之	
モデル/林あや子	





—世界の宝石店—

MIKIMOTO

神戸店＝三ノ宮－神戸国際会館TEL.221-0062

大阪支店＝堂島－新大ビル TEL.341-0247

京都支店＝河原町錦薬師BAL TEL.241-2970

大阪＝阪急・阪神・高島屋・大丸・近鉄上本

町店・松坂屋

本店＝東京－銀座4丁目 TEL.535-4611

株式会社ミキモト

©1976-2

春の装いにミキモトの帯留。

# 花

シリーズ②



MASARU NAKANISHI

中西 勝 (二紀会)



■本社／神戸市東灘区旗塚通6-3-10 Tel.231-3321 ■神戸外商部／神戸市東灘区旗塚通7-1-7旗塚ビル Tel.231-3321 ■パールファーム神戸／神戸市灘区鶴甲3-12-41 Tel.882-0107 ■さんプラザ店／神戸さんプラザビル3F Tel.391-4085 ■大阪支店／大阪市南区安堂寺橋通3-38-2 南大和ビル Tel.253-0165 ■大阪プラザ店／大阪ホテルプラザ内 Tel.458-2449 ■福岡支店／福岡市中央区赤坂1-11-13大福ビル Tel.781-5161 カタログご希望の方は、〒107 東京都港区赤坂1-3-5田崎真珠販売促進部までご請求下さい。



あなたの真珠はパールマークのお店で

## 真珠の天蓋、わが愛を封じ込めよ。

マベの半円は巨きく、个性的で、独自の世界を潜めているようにみえる。

その様々に輝く微妙な色合を引き立たせるのは、伶俐な黒と白。

首を廻る金の輪は、

寄せる波のようにすばまり、ペンダントの形を強調し、頸をほっそりともみせる。

TASAKI PEARLS

田崎真珠



ペンダント ¥600,000 マベ真珠、ダイヤモンド、アイボリー、オニキス、K14、WG

FANTASY KOBE 〈2月〉

思い出は しろいいろ。雪どけの頃に 甦ってくる



14K オパールエメラルドダイヤ入ブローチ

.. 宝飾店  
*Tajima*  
タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に  
応じておりますのでお気軽にご利用下さい。  
定休日は水曜日です。



## ニットの可能性を追って

市野木江充子

(ニットデザイナー)カメラ・米田定蔵

市野木さんがニットデザイナーとしてすすむ直接のきっかけとなったのは、昭和33年に秦万起子さんのコレクションを目にし、そのデザインと色彩の、技術を超越したレベルの高さに驚いてからだ。爾来、秦門下に入り、現在は秦砂丘子さんに師事している。元来、編み物が好きで、小学校高学年のときには自分のセーターも編んだ。我流から始め、やがて、編物学校に通い、秦コレクションに啓発され今日に到っている。この三月、「体語」と名うって芦屋ルナホールでショーをする。たとえば、洋服の襟とかダーツとかという明確な形のあるものではなく、形のないもの、一枚の布片を身にまとうことによって自分を表現する新しい試みである。理屈とか情念とかを一切否定したファッション。身体そのもので表現する。現在、メーカーの依頼で宣伝用の作品をつくったり、新作発表のショーのプロデュースなどをやっているが、自分の好きなことしかやらないという職人気質もある。「セーターこそおシャレのパロメーター。その点、神戸は普段着がすごくおシャレですね」KFS第一期生でもある。

(市野木 ニッティングスタディオにて)





製造・販売 サントリー株式会社



## 思いたったら デリカ・タイム

お求めやすい価格で6種類

●価格は手軽●サイズは気軽●500  
ml 200ml 各赤・白・ロゼの合計6タイ  
プと種類は豊富●栓はコルクスク  
リューのいらないイージーオープンキャ  
ップ●しゃれたデキャンタータイプ●中  
味は人気のベストセラーワイン〈デリカ〉  
…と、いいことずくめ。

なんと/500ml 赤・白・ロゼ 450円。  
標準的な小売価格  
あらっ/200ml 赤・白・ロゼ 200円。  
標準的な小売価格



サントリーワイン

## デリカ・タイム



## よき消費者を育てる経営を

河野忠博

（河野護謨工業社長・カメラ・藤原保之

山陽電鉄西代駅の近くに河野護謨工業の本社・工場がある。大正10年創立で、河野忠博さんは二代目社長。河野護謨がフランスのメーカーと技術提携をして「キッカーズ」ブランドで紐つき子供靴を売り出したのは三年前。紐つき子供靴は売れないという業界の常識を破って売れ、今や子供靴からブーツまで、「キッカーズ」は若者のアイドルとなった。「子供のために足にピッタリ合った靴をはかせることは非常に大切なことです。やっとここへ来て実を結んで来たようです」という河野さんは、ファッション産業の一翼をも担っているが「ファッションに名を借りた金もうけじゃなく、本当にいいものをつくること——これは経営者の当然のモラルです。消費者も流行ばかり追うのじゃなく始末すべき点は始末すべき」と安易な消費者迎合と流行追随を批判する。「いいものをつくって、その良さを消費者に知ってもらうこと、何とかしてその良さを知ってもらおうとすることが大切なんです」これが変わらぬ信念だ。溪流釣りが好きで、時間があればよく行く。ロマンがあるからだという。昭和八年生まれ。塩屋在住。

（河野護謨ショールームにて）





日本の心を伝える

伝統の味わいが  
豊かに香る  
サワノツル



清酒

※ 澤之鶴



神戸・灘 沢の鶴株式会社





ある集い☆マカンブッサール

「マガンブッサールて一体なにやネン!」と舌をかみつつ、ケゲンな顔をされる。その上、アダルト美人のお姉さま方（神戸のあちこちで活躍するキャリア・レディ）が12人もそろう会なのだから。

内容はいたって簡明なものでマレー語で大食漢の意味。つまりうまいもんをたべる集い。神戸の美味しいものをたべ、ゲストに魅力的な男性一人を招いて、おしゃべりしながら味わう。男性諸氏も食べられるのではないかと恐る恐るお出まし。

万博開催の頃は、パビリオン見学はそっちのけでひたすら各国のレストランへ出かけ、京、城崎、馬籠など各地へ味の旅。

最近では12月のクリスマスパーティーが定例になって、パーティー淑女達のフアショナブルな神戸らしく人間同士の暖かい交流会を楽しむに待つ人々も多い。相言葉は「デートリッヒに続け!」

写真左より 高月昭子、今岡頌子、藤本ハルミ、柳本薫、小泉美喜子、中西美代子、岡田美代、寺井昭子、市村礼子、上月倫子、花柳芳恵子、中島嘉子、本文28頁参照

（生田神社会館にて）

中味が自然の味とコクの「本醸造」なら  
容れものも画期的な四角い清酒。最後の  
一滴まで、空気にも、光にもふれない  
蔵出しそのままのおいしさをお楽しみ  
いただけます。



人は心 酒は金露

清酒  
**金露**  
金露酒造株式会社



蔵出し  
風味

# 四角い清酒

蔵出しの風味をおとどけする新容器！

本醸造  
**金露**  
パック

1.8ℓ 詰





シルクロード踏査隊に参加するメンバー

## ●コウベスナップ

## 夢とロマンの1万7千キロへ出発!



瀧川副社長(手前)から西川隊長へキーの引き渡し

神戸商科大学山岳部と同大学OBでつくっている「稜線山岳会」(網本義弘会長)の「シルクロード踏査隊」(隊長・西川仙之同大助教授)一行(18名)が2月15日トルコから出発するが、それに先立って昨年12月13日午後12時から国鉄三ノ宮駅前駐車場にて結団式が隊長以下14名の参加で行われた。開会の辞のあと、西川隊長が決意を、そのあと後援の財団法人21世紀ひょうご創造協会の一ノ瀬周太郎専務理事が激励の言葉をのべた。そして、兵庫トヨタ自動車の瀧川博司副社長から同社創立30周年を記念して贈られた「シルクロード・レインボー・1976」の文字も鮮やかなクラウン二台のキーが隊長へ引き渡された。同踏査隊は5月29日までの予定で夢とロマンの9か国、1万7千キロを回るが、完走は山岳部員4名の予定。

# 神戸の 中の 情景 《2》

文・多田智満子  
絵・石阪 春生

## 傾いた町

たとえば山手の丘に住む夫人が、テラスで紅いセーターを編んでいるとする。そこに子猫がきて毛糸の玉をころがす。玉はテラスからゆるやかに傾斜した芝生に落ちる。斜面を南へ南へ、紅い玉は長い長い毛糸の尾を曳きながら、小学校の校門の前を過ぎ、教会の塀にそつてころがりつづける。玉は最後にポトンと海におっこちるだろうか。それとも、それまでにすべての糸を繰り出し尽くして、自然消滅しているだろうか。いずれにしても夫人は平和な顔つきで、日当りのよい丘のテラスで、今もセーターを編みつづけている。

ある

いは、長い間つながれていた犬が、やつと散歩に連れ出してもらったとする。犬はたまりにたまったオシッコを、片脚あげて電柱に思いきり浴びせはじめ。暖い液体は坂道を細い川のように流れてゆく。そして三分後、一キ口も離れた坂下で、巡査が首をかしげるのである。水道管の破裂かしらん。それにしても色は色が黄色い……



